

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

令和6年度
自己評価報告書

令和7年1月31日

竹早教員保育士養成所

目 次

1 学校の理念、教育目標	1	基準4 学修成果	24
2 本年度の重点目標と達成計画	2	4-13 就職率	25
3 評価項目別取組状況	3	4-14 資格・免許の取得率	26
基準1 教育理念・目的・育成人材像	4	4-15 卒業生の社会的評価	27
1-1 理念・目的・育成人材像	5	基準5 学生支援	28
基準2 学校運営	7	5-16 就職等進路	30
2-2 運営方針	8	5-17 中途退学への対応	31
2-3 事業計画	9	5-18 学生相談	32
2-4 運営組織	10	5-19 学生生活	34
2-5 人事・給与制度	12	5-20 保護者との連携	36
2-6 意思決定システム	13	5-21 卒業生・社会人	37
2-7 情報システム	14	基準6 教育環境	38
基準3 教育活動	15	6-22 施設・設備等	39
3-8 目標の設定	16	6-23 学外実習、インターンシップ等	41
3-9 教育方法・評価等	17	6-24 防災・安全管理	43
3-10 成績評価・単位認定等	20	基準7 学生の募集と受入れ	45
3-11 資格・免許の取得の指導体制	21	7-25 学生募集活動	46
3-12 教員・教員組織	22	7-26 入学選考	48
		7-27 学納金	50

基準 8 財 務..... 5 1

8-28 財務基盤..... 5 2

8-29 予算・収支計画..... 5 4

8-30 監査..... 5 5

8-31 財務情報の公開..... 5 6

基準 9 法令等の遵守..... 5 7

9-32 関係法令、設置基準等の遵守..... 5 8

9-33 個人情報保護..... 5 9

9-34 学校評価..... 6 0

9-35 教育情報の公開..... 6 2

基準 10 社会貢献・地域貢献..... 6 3

10-36 社会貢献・地域貢献..... 6 4

10-37 ボランティア活動..... 6 6

4 令和6年度重点目標達成についての自己評価..... 6 7

1 学校の理念、教育目標

教 育 理 念	教 育 目 標
竹早教員保育士養成所は、明治21（1888）年創立以来、「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」ことを、理念・目的にかかげて教育実践に取り組んできた。 本校の卒業生に対する社会の期待も、この長い伝統の中で培われてきた実績に基づくものである。 近年、社会の保育に対する期待が増大しているが、大学との競合で学生の資質が問題となっている。そのため学生指導への困難さは増加している。 こうしたことから、伝統と就職率百パーセントに甘えることなく、学生指導の充実と就職指導に全教職員一丸となって取り組むことが必要である。そのことで一層の期待される学校とする。	教育基本法及び学校教育法並びに児童福祉法に則り、「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」ことを目的とする。 「誠実」とは私欲を離れて正直にまじめに物事に取り組むことであり、人間にとって最も大切な基本的な資質の一つである。「有為」とは才能があり人の役に立つということであり、幼稚園教員、保育士にとって欠かすことのできない資質・能力である。

2 本年度の重点目標と達成計画

令和6年度重点目標	達成計画・取組方法
本校は「誠実で有為な幼稚園教員・保育士を養成する」ことをねらいとしており、次に示す能力や知識・技能を身に付けるために教職員が一体となって取り組んでいる。そして、学生が節度ある態度や行動、学ぶ意欲をもち、積極的に学習に取り組むことを期待している。 (1) 保育者としての使命感の自覚及び求められる専門的知識と思考力・判断力 (2) 教育・保育の場における様々な課題に対応できる実践的な技能 (3) 教育・保育活動に必要とされるコミュニケーション能力及び多様な人と協働する力 これらの能力や知識・技能を身に付けるため、令和6年度は、以下を重点目標とした。 (1) 保育者としての専門性を高めるための機会を充実させる。 (2) クラブ活動や行事からの学びを充実させ、保育者としての資質や能力の向上をめざす。 (3) 多様化する学生一人一人の課題に丁寧に対応する。 (4) 地域連携による「保育補助活動」の充実を図り、実践力を高める。 (5) 実習と実習指導の充実を引き続き図る。 さらに学生募集については、学校説明会やガイダンスに加え、高校訪問により本校の魅力を伝えていく。	幼稚園教員・保育士は、人間形成という高度な精神活動に関わる職務に従事する専門職である。その資質・能力を育成するため、次のことを重視して取り組む。 (1) 保育者に求められる資質・能力に対応できる授業内容の充実をめざす。 (2) 学生の授業への出席を重視して対処する。 (3) 1・2年合同のクラブ活動の体制を整え、集団の一員としての自覚を高め、協力・協調を通して保育者としての資質・能力の向上をめざす。また、学生の実態を踏まえ、学生の自主的活動の促進をめざす。 (4) 学生の多様化により、学生一人一人の課題を把握し、受け止め、丁寧な対応を図る。特に担任、教務部長を中心に全教員で対応していく。 (5) 地域連携を密にし、引き続き「保育補助活動」を実施し、学生が達成感をもてるよう検討する。計画としては、表現指導法と保育・教職実践演習とがタイアップし、ミニプログラムを企画し、近隣の児童館、幼稚園、保育所で発表する形にする。そして、子どもとの関わりを通して実践力を高めることをめざす。 (6) 実習の事前指導・事後指導を充実させ、実習での学びの充実を図る。専門の担当者を置き、長期の見通しをもって、内容・方法を見直し、検討していく。 (7) 豊かな人間性や保育者に求められる人間力を養うため、学校行事の一層の充実を図る。

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

高橋 武郎

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
誠実で有為な幼稚園教員、保育士の養成が本校の目的であり、社会の期待は、長い伝統の中で培われてきた実績に基づくものである。社会の保育に対する期待はさらに増大している。また保育者の資質・能力の向上も求められている。 こうしたことから、保育者に求められる専門性と具体的な姿について検討し、授業、学生指導と就職指導の充実に全教職員一丸となって取り組むことが必要である。	（１）本校のディプロマポリシーは次のとおりである。 ①保育者としての使命感の自覚及び求められる専門的知識と思考力・判断力 ②教育・保育の場における様々な課題に対応できる実践的な技能 ③教育・保育活動に必要なとされるコミュニケーション能力及び多様な人と協働する力 これらの能力と授業内容とのつながりや達成時の具体的な姿、学生自身の認識（個人カルテ）等についてさらに検討し、より実効ある目標としてとらえられるようにしたい。 （２）本校ではクラブ活動や行事から得られる学びも重視しており、引き続きよりよい内容・方法の検討を進めたい。 （３）学生募集はこれからも引き続き力を入れていく。本校の良さや保育の魅力を伝えられる方法をさらに検討する。	・ 学校創立 136 年 ・ 全国の公・私立幼稚園の管理職教員として多数の卒業生が活躍している ・ 現在もほぼ就職率 100% ・ 教育課程以外に保育研究発表会、宿泊研修、特別研修などの教育活動を設定し、学生の資質・能力の向上に努めている。 ・ 学生数の確保に課題があり、引き続き広報活動に注力する。 ・ 幼稚園教育要領等に基づくシラバスについても「学習の取り組み」等の評価から改善していく。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 3 1 日	記載責任者	高橋 武郎
--------	------------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理 念 ・ 目的 ・ 育成人材像は、定められているか	☐ 理念に沿った目的・育成人材像になっているか ☐ 理念等は文書化するなど明確に定めているか ☐ 理念等において専門分野の特性は明確になっているか ☐ 理念等に応じた課程（学科）を設置しているか ☐ 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか ☐ 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか ☐ 理念等の浸透度を確認しているか ☐ 理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	5 4 4 4 4 4 3 4	学校教育法の理念に則り、学則の第1条に「誠実で有為な人材の養成」をかかげている。 新教育課程に基づくシラバスを作成し、学生に提示している。 理念・目的は毎年見直しに努めている。学生指導、就職指導についても詳しく示した。 高校への本校紹介を高校訪問等を通して行うなど学外への公表に努力している。	学生便覧、学校案内等に誰もがわかる言葉で紹介している。 シラバスに示された内容によって授業が行われている。 常に課題意識をもって改善、見直しを行っている。 入学希望者の多くが学校紹介のHPに目を通すなど学校を理解した上で行動している。	現在のところ、この理念を変更しようという考えはない。 理念・目的とシラバス、授業改善の整合性と改善を追求している。 教科のみならず生活指導の面でも取り組みを行っている。 学外への公表の方法（説明会等）・内容についてさらに検討している。	学則 シラバス 学校案内 学生便覧 学校紹介HP
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	☐ 課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか ☐ 教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4 4	創立以来、誠実で有為な保育者を養成することを目的に教育活動に取り組んでいる。 実習や教職実践演習等を通して関連業界と密接な関係を保っている。	保育者にとって必要な技能の修得に努めており、就職後その技能が活かされている。	授業改善を一層進めることでその充実に努めているところである。	学校案内 学生便覧 授業内容の概要 実習の手引き

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	☐ 専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか ☐ 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか ☐ 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	4 4 3	求められる知識・技能人間性等の人材要件を明確にし、教育課程、授業計画に活かしている。 実習の巡回訪問の際には求められる保育者像と学生の実態などについて話し合っている。	特色ある教育活動の充実を図る。	伝統をどう活かすか。 保育者としての専門性について検討するとともに、内容、方法、評価についても検討したい。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	☐ 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか ☐ 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	3 4	理念・目的は毎年見直しに努めている。 高校への本校紹介を行うなど学外への公表に努力している。	常に課題意識をもって改善、見直しを行っている。 保育・教職実践演習の指導内容を充実させる。	教科のみならず生活指導の面でも取り組みを行っている。	学校案内 学生便覧 授業内容の概要 実習の手引き
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	☐ 中期的（3～5 年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか ☐ 学校の将来構想を教職員に周知しているか ☐ 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	3 3 3	これまでの保育者を育成するとの目標で歩んできた歴史を大切にしながら、将来構想について検討している。	教育課程編成委員会を発足させるなど、検討を進める。	学生の学習意欲を高めるために、シラバスの内容等の改善を行っている。 保育研究発表会等の伝統行事を検討する。	シラバス 竹早だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業観を育てることが専門学校の大きな責務と考えている。 学生のニーズをどのように取り入れて、教育活動を展開するかが課題であると受けとめている。	FDとして「授業アンケート」などを行い、その結果を活かし授業改善を積極的に進める方向で教員に努力を求めるとともに、学生の授業への意欲的な参加態度の育成に努めているところである。

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
136年の歴史と伝統及びその実績は本校の宝である。しかし、変化の激しい現代にあって伝統に甘えることは、本校の衰退を招く。 社会の変化は、保育者の養成にも大きな期待を寄せている。 そうした中で本校も学習指導、生活指導、進路指導を核とした中期的目標を設定し、その具現のため年度ごとの目標を設定している。 その実現のためには、財政面と人事面の充実が基盤となる。しかし、財政は学生の納付金収入に左右される。 そこで、本校の望ましい学校運営のためには、何よりも学生数の確保が重要である。 そのため、授業の進め方、職員の勤務態様等について引き続き検討する。	ここ数年、入学者数の減少が危惧されている。 これまで、高校ガイダンスに一層力を入れることをめざしたが、都内の高校からの要請が減少している。そこで、本校を知ってもらうため、ホームページの充実や学校案内、学校紹介動画等のすることにも力を入れてきた。今年度は学校説明会の回数を増やし、高校訪問も引き続き実施した。 今後も引き続き、具体案を検討したい。 人事については養成校としての基準が明示されているが、望ましい人事体制のためには財政負担を考えなければならない。そのためにも、学生数の確保が今後とも重要となる。	今年度の入学試験の結果、学生数は昨年よりも減少してしまった。 文部科学省の教員養成機関指定基準にそって校内指導体制を整備している。

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

高橋 武郎

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	□運営方針を文書化するなど明確に定めているか	4	本校がめざすあるべき姿をきちんと示している。 方針は形として示され、所長からも職員会議で周知されている。	学則をもとに細則まで整備されている。 学則等印刷物が全職員に配布されている。 職員会議録にも記録されている。 学生便覧にも示されている。	保育士養成課程の改訂に応じた学則、教育課程の実施ができている。 教職員の意識改革は必要である。 各個人からも学校運営の改善案を集めている。	学則 細則 会議録 学校案内 学生便覧
	□運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	4				
	□運営方針を教職員等に周知しているか	4				
	□運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は毎年文章化して職員会議で教職員に周知し、組織内に浸透している。	運営方針を具体化する方策を各分掌から提案し、全体で共有している。 留年学生の授業料について学則及び細則に明記している。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	☐ 中期計画（3～5 年程度）を定めているか ☐ 単年度の事業計画を定めているか ☐ 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか ☐ 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか ☐ 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	3 4 4 4 4	学校の目的・目標の達成のための基本計画がある。 学生便覧・シラバスが適正に定められている。 事業は日程に沿って組織的に実施されている。 事業計画と予算・目標を明示しており、事業見直しの時期・内容を明確にしている。	全学生・全教職員に学生便覧・シラバスを印刷・配布し学業指導・講師連絡会で周知している 職員会議で計画・目標等を確認する。	学生数に応じた事業計画の改善	学生便覧 シラバス 学生募集 学校案内 学校暦

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本養成所がめざすべき姿を中期的な目標として設定し示している。この目標を具体化するため、年度ごとの目標を設定し、組織的な運営に努めている。 適切な事業計画を策定し実施していくためには、恒常的な学生数の確保による、安定した収入が必要である。	事業計画は早い段階で次年度のものを策定するが、入学生の減少に対応できていない。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	☐ 理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか ☐ 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか ☐ 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4 4 4	理事会、評議員会は適切に開催し、議事録を作成している。 寄附行為も適正な手続きを経て改正している。	法人の財政の健全化を図っている。	入学生数の回復による健全化をさらに進める。	
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	☐ 学校運営に必要な事務及び教務組織を整備しているか ☐ 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか ☐ 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか ☐ 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか ☐ 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか ☐ 組織運営のための規則・規程等を整備しているか ☐ 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4 4 4 4 4 4 4	所長のもと専任教職員の校務分担が分掌表として示されている。 学校の目的・目標の達成のため組織が明確になっている。 教務部・学生部・事務部と校務を分けている。 各部署の役割分担は、分掌表に詳述されている。 議事録は開催毎に適切に作成している。 規則・規定は必要に応じて改正している。	教員の入れ替えがあったが、学校運営上の大きな問題は見られていない。 個々人が慣習的に校務を進めている面が見られる。	教務部と事務部との連携更に必要である。	校務分掌表

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	4	意欲が高く、すぐれた資質をもって職務を果たしている。	人数不足のため多忙である。	できればもう一人増員できるとよい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任教職員で職務を分担しているが、人事の入れ替わり等のため引継ぎが十分でない面が見られる。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	☐ 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	採用手続きを明確化して運用している。	昇任・昇給の基準は組織の規模が小さいため、制度として明確にはなっていない 人事考課の実態は公表されていない	人事考課制度については、今後、策定を検討する。制度としての公開は不十分だが、理事会ではすでに適切に検討している。人事計画は将来の展望をもって策定しておく。	竹早学園給与規程
	☐ 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	3				
	☐ 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	4	給与規程を整備し、適切に運用している。			
	☐ 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	昇任・昇給は職員の退職等に応じて適切に運用している			
	☐ 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3	理事会では人事考課を進めているが、制度としては策定されていない			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
文部科学省及び厚生労働省の規定する人事配置に合わせて人事計画を進めているが、必要な人材の確保には困難もある	専任教員の資格要件に合う人材確保に苦慮している。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	□教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか	4	経営母体の理事会のもと、所長以下の分掌組織、職員会議がある。職員会議が定例化されている。 所長、部長、各主任の階層と権限は明確になっている。	毎月の定例職員会議と必要に応じた会議を開催し、所長の決定による意思決定システムは確立されている。	小規模運営なので指示待ちになりやすいため、企画会を設定して課題を整理し、活性化を図る。	
	□意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか	4				
	□意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模でまとまりやすい反面、新しい発想に対する意識転換がなかなかできない。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	☐ 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか ☐ 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか ☐ 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか ☐ データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか ☐ システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか	3 3 3 3 3	学生に関する情報システムは構築している。 全教職員が個々に情報管理している面が多い。 学生指導における情報管理システムを活用している。 データの更新等を適宜行い、蓄積している。	個人の管理に任されている部分かなりある。	情報の取り扱いなどの管理規定、保管の在り方などの共通理解について検討する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報の公開と保護について、教職員全員で共通理解する場を設ける必要がある。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「誠実で有為な幼稚園教員・保育士を養成する」という目的に向かい、実践的な保育者を養成することで、理念等に沿った教育課程の編成・実施を行っている。 シラバス作成にあたっては、学生が意欲的に授業を受けられるよう、「授業計画、概要」「授業の具体的な展開」「キーワード」「学生の到達目標」「成績評価の方法」「テキスト、教材、図書」「その他、注意事項」の項目により作成している。 また、教員自身による「授業に対する自己評価・自己点検」、学生による「授業についてのアンケート」などを実施し、授業改善に努めている。 成績評価・単位認定の基準も学則で明確にしており、2年間の学習の積み重ねによって資格取得を可能にしている。	教育課程にかかわる委員会を設置し、教育課程の編成について定期的に見直し改定を行う予定である。また、キャリア教育の実施にあたり、内容・方法の検討を重ねていく。さらに教員の資質向上のための研修体制を充実させていくことをめざしている。	136年の歴史と伝統から、本校への社会の期待は大なるものがある。 保育現場の現状は、こども基本法施行、待機児や利用者の増加、子ども園の増加、会社による保育園経営等の傾向により保育者へのニーズが質量ともに増えている。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	上藤 千香子
--------	-----------	-------	--------

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	☐ 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか ☐ 職業教育に関する方針を定めているか	4 4	理念等に沿った教育課程の基本方針については「授業内容の概要」に記載されている。			学生便覧 授業内容の概要
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	☐ 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか ☐ 教育到達レベルは、理念等に適合しているか ☐ 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか ☐ 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4 4 4 4	教育到達レベルは理念等に適合しており、教育目標の具体化を図るため、適宜到達レベルを設定している。取得指導については教科指導・生活指導で適宜行っている。 特別研修も適宜実施している。	学生一人一人の目標達成について、より正確に把握し、指導を徹底する必要がある。	目標達成のための各教科・科目の指導のねらいを整理する。	授業内容の概要

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
136年の歴史と伝統から、「誠実で有為な幼稚園教員・保育士を養成する」との目的に向かい、実践的な保育者を養成することをめざしている。教科指導では、シラバスを作成する時に、「授業計画」だけでなく、「学生への到達目標」「具体的な指導の展開」「成績評価の方法」等も明確にしている。	学生の学力をはじめとする力量に差が著しく、指導上の課題が大きい。

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育 目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	☐ 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか ☐ 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか ☐ 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか ☐ 授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか ☐ 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか ☐ 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか ☐ 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか ☐ 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか ☐ 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4 4 4 4 4 4 4 4 4	幼稚園免許状、保育士資格取得に必要な科目として、文部科学省、厚生労働省から指定されたすべての科目を位置づけ、体系的かつ適切に設定されている。 また教務部を中心に教育課程を編成し、学校として実施する体制ができています。 個々の授業科目の教育内容・方法の改善のため組織的なファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を実施。 各科目は教育課程の中に専門科目・基礎技能科目・教養科目として適正に位置づけている。授業の方法は講義・演習・実験・実習・あるいは実技といった形態で行われている。各科目において目標に照らし、学生の実態に合わせた工夫を行っている。	実務経験のある教員より、実習に直結する演習を計画的に位置づけていくことで、学生の授業参加意識を高めていく必要がある。	関連する教科・科目では担当する教員の連携を図るため、講師連絡会の際に協議する。 実習記録の書き方や模擬保育の実際について、よりよい実践に繋げていくために担当する教員と検討し、共通理解を図る。	授業内容の概要

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	☐ 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか ☐ 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか ☐ 授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか ☐ 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか	4 4 4	講義・演習・実習・実技等により、理論と実践を融合した実践的な指導力を身に付けることをめざし、工夫している。 授業科目についてはコマシラバスを作成し、毎年、内容について自己点検、自己評価を行い、改善を図っている。	多様な内容・方法に対応できる教育環境を整備する必要がある。	教育方法の改善にあたり、マルチメディアの効果的活用のための取り組みをさらにすすめる。 時数の確保をさらに工夫する。（月曜日） 一コマの授業内容を学生にわかりやすく記述する。	
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	☐ 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか ☐ 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか ☐ 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4 4 4	学生による授業評価等を参考にしている。 幼稚園教員・保育士としての識見・教養を豊かにし、実践的な指導力を身につけさせるため、指導大学である東京学芸大学、実習先・就職先からの意見を反映させている。	個別に聴取を行っているが、体制としての取り組みが必要である。	さらに外部の意見を踏まえた内容を追求する	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	☐ キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか ☐ キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4 4	キャリア教育の実施にあたり、本校の教育課程に即したキャリア教育マトリックスを作成して方針を定めている。特別研修の中に位置付けている。	正規の教育課程に「キャリア」に関する科目の設置を検討する。 キャリア教育を踏まえた科目間の連携による学習の集中化・効率化の追求が必要である。	社会人としての心構え、仕事への姿勢や意識を高める取り組みなど、キャリア教育に関する検討を進める。	キャリア教育マトリックス 特別研修の計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	実習巡回等で意見聴取を行っている。	評価の観点をさらに明確にする必要がある。		
3-9-4 授業評価を実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか □学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか □授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか □教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4 4 3 4	授業評価の実施体制を整備し、学生に対するアンケートによる授業評価を行っている。 その評価結果は教員にフィードバックされており、授業改善に活用している。 教員自身の授業評価も実施している。	評価結果を学校として生かす体制については検討したい。	結果の妥当性を高めるために、アンケート期間を設定し、時間を保障する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
幼稚園免許状、保育士資格取得に必要な科目として、文部科学省、厚生労働省から指定されたすべての科目を位置づけ、体系的かつ適切に設定されている。シラバス作成にあたっては、学生がより具体的に意欲的に授業に参加できることをめざしている。また教員の授業に対する自己評価・自己点検、学生の授業に対するアンケート等の内容について、絶えず検討を重ね、客観的なものに作りあげていくことが重要である。	令和5年度子ども家庭庁設置により、子ども家庭福祉の実際を踏まえた現在の社会情勢に対応できる保育者を養成する本校への期待は大きい。 ICTの活用として、Google クラウドルームを授業の補足や情報伝達などに率先して使用している。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	上藤 千香子
--------	-----------	-------	--------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	☐ 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか ☐ 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか ☐ 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4 4 3	科目授業の5分の4以上の出席者に学力試験と平素の学習状況を評価する基準を定めている。 成績会議を開き、意見交換の上、可否を決定している。 履修免除等はしていない。	科目については担当者個人の評価になっているため、客観性の確保については難しい。 個別対応はしている。	すべての科目について関係教員合議の上で客観性を確保する必要がある。 今後の課題とする。	
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	☐ 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	3	全校的には特に把握していない。	学級担任により必要に応じて個別の把握はしており学生のスキルアップの参考にしている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎学期末に学生一人一人に関する成績判定会議を開き、全教員による共通理解を図っている。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	上藤 千香子
--------	-----------	-------	--------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	□取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか	4	入学時学生便覧学則第14条～19条の内容を説明し確認している。	学生の理解については教職実践演習事前学習、振り返りで確認をしている。		
	□資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	科目担当教員が説明をし、明確にしている。 特別講座は年間計画で定めている。			
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	□資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか	4	ピアノの個別指導や実習に関する指導は専門の教員と担任が補っている。			
	□不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	単位不足の学生は補講を受けさせている。さらに未履修の科目がある場合は、留年し再履修している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程に示された科目により、2年間の学習を積み重ねることで資格取得が可能となる。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	上藤 千香子
--------	-----------	-------	--------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	□授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	4	基準通りの教員を採用している。	教員配置については適切に計画できるよう、さらに検討を進める。 授業科目を担当するために必要な教員の資格要件を満たす研究業績が不足しがちである。研究のための環境や時間の保証、費用等が課題である。	財政の安定的運用も視野に入れる。	
	□授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	4	保育関係団体の活動実績を参考にして人材確保をしている。			
	□教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	4	教員の知識・技術・技能レベルは関連業界等のレベルに適合している。			
	□教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか	3	教員構成の内容は、シラバスに明示している。			
	□教員の採用計画・配置計画を定めているか	3				
	□専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか	4	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握している。			
	□教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	3	高齢の非常勤講師については年齢構成上、新たに若手の教員と入れ替えている。			
	□教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組を行っているか	☐ 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか ☐ 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか ☐ 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか ☐ 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4 3 4 4	教員一人一人から「授業に対する自己評価・自己点検」提出してもらい評価している。 資質向上のための研修については個人に委ねられている。 研修委員会による企画運営で全体会議を行っている。	評価をさらに充実させる。 組織として人材育成計画を立てる必要がある。	研修結果を研究紀要に載せるよう啓発する。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	☐ 分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか ☐ 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか ☐ 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか ☐ 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか ☐ 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4 4 4 4 4	組織体制の整備をしている。 講師連絡会で年に一度、関連の深い科目同士で連絡を取り合っている。必要に応じて連携・協力体制を得られるようにしている。		さらに連携・協力体制を推進したい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
研究紀要の発行、教員研修会を実施する等、教員の資質向上に努めている。講師連絡会等で、専任・兼任（非常勤）教員の連携を図っている。	研究のための環境、時間、費用等の検討は必要である。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	上藤 千香子
--------	-----------	-------	--------

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の学生は全体的には真面目であり、資格取得のために真剣に取り組んでいるといえる。 しかし一方、近年、基礎学力の不足、目的意識の希薄な学生の姿も見受けられる。また、基本的な生活習慣やマナーなどが身に付いていない学生も多い。そのため心情に触れる学生指導や授業改善への継続的な努力がさらに求められる。 新型コロナウイルス感染症の感染症法に基づく位置づけが、令和5年5月8日から5類感染症に移行し、マスク着用など日常における基本的な感染対策については主体的な選択が尊重され、基本的な対策を一人一人が身に着ける「自己管理」がより重要になっている。 上記の課題に取り組みつつ、実践的な授業をいかに工夫して実施していくのが大きな課題である。	規定の教育課程に加え、特別研修や就職ガイダンスなどを効果的に組み入れている。 また、規定の教育実習・保育実習の他にも近隣幼稚園・保育所・児童館との連携による実践的授業、保育者として必要な力量が総合的に学べるよう所長以下全職員で取り組み、成果をあげている。	就職については、保育者不足による求人数の増加ということもさることながら、136年にわたる伝統の中で培われた信頼と学生の資質向上により、今年度も就職を希望する学生は就職率100パーセントの実績を挙げている。

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

土屋康子

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	□就職率に関する目標設定はあるか	4	キャリアセンターでは、毎月の就職成果を分析・記録し所長、副所長、教務部長、学生部長、2年担任、就職担当とで共通認識している。 職員会議で専任の全職員に報告している。 就職率等のデータや個人データについてはキャリアセンターで管理している。 卒業生の相談にも応じ、情報提供している。	・従来は勧めて来なかったが、企業系の就職先の求人攻勢にどのように対処していくか。 （近年企業系の保育所に就職を希望し、就職する学生が増えている） ・売り手市場極まる現状で、学生の選択眼をいかに養うか。	・企業系のこども園、保育園の就職を希望する学生が増えているため、就職先を決定する際には、担任、職担当とで相談に応じ決定していく。 ・多くの情報を収集し、比較検討する眼を指導者も学生もさらに付けていく。 キャリアセンター主導で、「キャリア教育・プラン」の充実を目指し、キャリア教育に関するさらなる検討をすすめる。	キャリアセンターの記録 「学生便覧」中の「就職活動のしおり」 就職活動個人カード 求人票・求人一覧表 卒業生の就職試験の記録 「キャリア教育・プラン」 卒業生求職者登録票 卒業生用求人票
	□学生の就職活動を把握しているか	4				
	□専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	4				
	□関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	4				
	□就職率等のデータについて適切に管理しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望者数に比べて、求人数が何十倍もあるが、職業意識と現実とのズレもあり、自己分析、自己評価に時間を要している。教職員の指導の成果もあり、保育者として就職を希望する学生は 100 パーセントの就職率をあげている。	毎月の職員会議において、キャリアセンターより、各学級の個々の学生の就職状況について報告する場と時間を有効活用した。一人一人の学生における、配慮事項等を、全教員で共有できた。10 年前より新設の保育園、こども園の数が増えているため、オープニングスタッフはじめ、求人数が増加している。実習園より声がかかり就職する学生が年々増えている。

最終更新日付

令和 7 年 1 月 3 1 日

記載責任者

土屋康子

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	☐ 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか ☐ 特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか ☐ 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4 3 4	資格・免許取得率の目標はすでに十分達成している。 資格取得に必要な単位修得のため、学習支援、補講等を行っている。 1 年次より特別研修を実施して、希望する就職が達成するよう、努めている。	・ 学生個々に、日々の授業が資格・免許習得に直結しているという自覚をもたせること。	・ 授業改善に努め、意欲喚起を促し続ける。	出席簿 出席確認票 卒業生台帳 学籍簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は卒業と同時に、幼稚園教諭 2 種免許状と保育士証を取得させることが目標である。そのため全力をあげて学生指導に励み、学生もこれに応えている。 卒業後の職種については幼稚園教員 20%、保育士は 51%、施設職員 20% を希望する学生も増えている。	今年度の就職活動は、①自宅から通いやすい就職先を探す。②実習園やアルバイト先の人間関係に着目し選択する。等の傾向が、顕著であった。就職状況は以下の通りである。 公立保育園・施設 36% 私立幼稚園 20% 私立こども園 9 % 私立保育園 25% 施設・その他 9 %

最終更新日付

令和 7 年 1 月 3 1 日

記載責任者

土屋康子

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	□卒業生の就職先の幼稚園、保育所、子ども園、企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか	3	同窓会との情報交換の機会を設けている。 実習巡回で卒業生の活躍状況を聞いている。 卒業生の多くが指導的な立場で活躍している。	・実態調査等の実施	同窓会との連携強化	同窓会資料 同窓会誌「ささぶね」

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保育者養成の歴史が長いため、本校の卒業生は、幼稚園・保育所・子ども園・施設等で園経営の中心的役割として活躍しており、行政や園の管理職の経験者も数多く存在する。	本校の卒業生が、キャリアを積み、管理職として企業系の保育所へ転園するケースが増えている。また、同窓生には、管理職として活躍されている方が多い。その方々から、積極的に意見を聞かせてもらえるような機会を設定していきたい。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	土屋康子
--------	-----------	-------	------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職・進学指導においては、無料職業紹介事業の許可を得て、専門職員を配置し、キャリアセンターを運営している。また、各クラスの担任とも連携を図りながら、ガイダンスや特別研修を設けて、職業に対しての意識付けや就職に向けての具体的な指導も実施している。 学生相談においては、各クラスに担任を配置し、学生の個人相談を受ける相談室を設置している。 学生の経済的側面についての支援は、東京都育英資金、日本学生支援機構の活用により支援体制を整えている。 学生の健康管理を担う組織体制については、定期健康診断、健康相談、健康講話を行うとともに、保健室を設置し、保健担当職員、担任で学生の健康管理を組織的に行っている。 クラブ活動は保育に役立つ内容が選ばれ、顧問を配置し経験の一助となるよう工夫している。 保証人との連携については、後援会を組織し、保証人の中から代議員を選出し、学校組織との連携を図っている。また、担任と保証人は個別に対応できる体制が整っている。 愛校精神ある卒業生の財政的、教育的支援の力が学校を支える底力となり、相談、懇親、研修など学校と協力してフォローアップ体制を整えている。	将来についての人生設計と職業とのかかわりなど指導が重要であると受け止めている。 今後、複雑多様化していく相談内容、心の悩みを持つ学生の増加への対応として、常駐の専門職の配置をすすめていく。 経済的な支援を希望する学生の増加がみられるが、支援体制の有効性の検討とリレー口座加入など、奨学生の義務についての指導のあり方など整備していく。 看護師などの常駐はないので、日常的に発生する体調不良の訴えに適切に対応している。健康の保持を含めて学生の健康管理のあり方について検討がなされる必要がある。 ボランティアに関しても保育の学習につながるよう支援している。 保証人の中から選出された代議員により、後援会組織が運営され、学校と連携しながら学生の活動を支援している。	136年に渡る長い歴史と伝統中で培われた信頼関係が保育現場との間で構築されており、毎年、約1500件の求人があり、保育現場に就職を希望するすべての学生が職につくことができている。 学生相談については、学生生活においては、各担当教職員が随時相談室にて相談を受ける体制になっている。留学生の受け入れは現在のところない。 学生の経済的側面についての支援は、東京都育英資金、日本学生支援機構の活用について支援を行っているが、学校独自の奨学制度、減免制度は設けていない。ただ、年限を越えて限定的に単位を履修する場合は、授業料の負担軽減を図っている。 学生の健康管理については、乳幼児対象の実習やボランティアが多いため、保育実習前、保育補助活動前に細菌検査を実施したりインフルエンザ予防接種を各自で受けたりしており、健康指導なども行っている。 クラブ活動や学級活動など、1年の学習の成果を発表する機会として保育研究発表会を学校行事に位置づけている。 同窓会発足86年、卒業生15000名以上の実績が学校の理念を支えている。

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

大井 靖

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	☐ 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか ☐ 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか ☐ 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか ☐ 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか ☐ 就職説明会等を開催しているか ☐ 履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか ☐ 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	5 5 4 4 4 4 5	・キャリアセンターを設置し、専任職員による相談、指導を行っている。 ・後期になると担任はキャリアセンターに常駐。 ・毎月の職員会議で状況を逐次共有している。 ・各地区の就職説明会に出席し情報収集を行っている。 ・ガイダンスや特別研修でも、履歴書・面接等、具体的に指導している。 ・担任や就職担当とで適切に実施。	・キャリアセンターの就職担当・担任による相談機能を充実させている。 ・学生部に就職部門を位置、他部門と連携している。 ・担任と就職担当教員は常に状況を共有している。 ・受験・内定・労働条件通知の取り交わし等、就職先と適切に連絡し合っている。 ・1年次から説明会を実施し、2年次で具体的なセミナーを実施している。外部講師も招いている。求人内容など資料を整備して指導している	・学生の進路委員による進路情報の広報活動も徹底している。 ・定例の会議で担任と専門職員が連携している。 ・校内の実習委員会とも状況を共有。 ・保証人会で保護への説明も実施している。 ・特別研修で、就職の心構えや具体的な活動の流れも指導している。 ・自己実現に向けて意識付けをしている。	就職活動のしおり 学生便覧 求人票・求人一覧表 卒業生就職先一覧 就職活動の記録 就職活動個人カード

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
無料職業紹介事業の許可を得て、専門職員を配置しキャリアセンターを運営している。また、各クラスの担任とも連携を図りながら、ガイダンスや特別研修を設けて、職業に対しての意識付けや就職に向けて具体的な指導も実施している。	長い歴史と伝統の中で、多くの卒業生を輩出しており、約1500件の求人票をいただいている。就職を希望する学生のすべてが保育現場や施設に就職している。

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

大井 靖

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	□中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	・退学者数を常に把握し、要因・傾向の把握に努めている。	・要因・傾向を分析して、対応の在り方を検討している	・欠席が多くなっている学生の相談・指導を行っている。	学生便覧
	□指導経過記録を適切に保存しているか	4	・個人ファイルを保存している。	・ファイルは全職員が閲覧できる。	・詳細は担任が記録している。	
	□中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	4	・学級担任、学年、教務部長の連携を図っている。	・実習を契機に退学へ向かう学生も何人かおり、特に丁寧に対応している。	・心配な学生には保証人を含む三者面談も実施している。	
	□退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	・教科担当とも欠席状況等の連携を取り、学年担当が中心に指導。	・教務部長と連携して担任が適切に指導している。	・就職指導の専門職員も相談できる体制をとっている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、保育者を目指して入学する学生がほとんどである。目的意識を持っていることから、退学者は少ない。しかし一方で、実習等で挫折したり、精神的に落ち込んだりする学生もあり、早期に適切な対応が望まれる。	退学には、家庭の事情も含めて多様な要因があり、保証人会や、保証人を含む面談等も設けるなどして対応している。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	大井 靖
--------	-----------	-------	------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	☐ 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか ☐ 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか ☐ 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか ☐ 相談記録を適切に保存しているか ☐ 関連医療機関等との連携はあるか	NA NA 4 3 4	・相談室の利用を案内している。 ・各クラスに担任を配置し相談を受け、記録を取っている。 ・近隣の医療機関で受診を進めている。	・必要に応じて教職員が対応している。 ・自己理解深めるアンケートや検査も実施し、相談に生かす。 ・個人ファイルに必要な内容を保存。 ・検診で近隣の医療機関と連携している。	・定期的なカウンセリングを教職員の専門性で実施する。 ・担任が一人一人の状況を把握し、相談できる体制を整えている。 ・複雑多様化する相談内容に対応するため、記録保存、医療機関との連携をすすめる。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	☐ 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか ☐ 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか ☐ 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか ☐ 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	NA				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各クラスに担任を配置し、学生の個人相談を受ける体制を実施している。今後、複雑多様化していく相談内容、心の悩みをもつ学生への対応とし、より一層学生一人一人の特性の理解に努めていく。	学生生活における個別の相談については各担当教員が随時相談室にて相談を受ける体制になっている。留学生の受け入れは現在のところない。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	大井 靖
--------	-----------	-------	------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	☐ 学校独自の奨学金制度を整備しているか ☐ 学費の減免、分割納付制度を整備しているか ☐ 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか ☐ 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか ☐ 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか ☐ 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4 4 4 4 4 4	・東京都育英資金、日本学生支援機構の活用をすすめている。 ・学生の現況に合わせて分納を実施している。 ・大規模災害や家計急変には丁寧に相談に応じて対応する。 ・説明会の機会を設け情報提供している。 ・丁寧に相談に応じ、適切に対応している。 ・本校の利用についてすべて把握している。	・希望するほとんどの学生が奨学制度を利用している。 ・定期的に学生の実情を把握して分納を実施している。 ・希望者には必要な制度が利用できるようにする。 ・必要な学生は申請手続きを行っている。 ・必要な制度が利用できるよう支援している。 ・経済的支援制度の利用実績を常に明確にしている。	・学校独自の支援制度の検討を行っていく。 ・年限を超えた限定的な単位履修には、負担を軽減している。 ・学校独自の制度を検討していく。 ・保証人にも周知する。 ・相談担当者を明確にして相談しやすくしている。 ・本人の卒業見込みや成績状況とも照らし合わせている。	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	☐ 学校保健計画を定めているか ☐ 学校医を選任しているか ☐ 保健室を整備し専門職員を配置しているか ☐ 定期健康診断を実施して記録を保存しているか ☐ 有所見者の再健診について適切に対応しているか	4 4 3 4 4	・担当者を決め計画的に進めている。 ・選任している ・保健室を設け、健康管理者を決めている。 ・定期健康診断（X線は直接撮影）を実施。 ・再健診を必ず実施し対応している。	・学校歴にも位置づけ保健センターの講話も実施している。 ・校医の健康相談、講話を行っている。 ・健康管理者、担任が連携し指導している。 ・検診の個々の記録を確実に保存している。	・計画の明確化をさらに進めていく。 ・健康診断についても指導をうけている。 ・常に、心身の健康について指導している。 ・専門家の常駐など健康管理のあり方について検討を進めていく。	

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	☐ 健康に関する啓発及び教育を行っているか ☐ 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか ☐ 近隣の医療機関との連携はあるか	4 3 4	・常時、健康の啓発及び教育をしている。 ・精神的な健康指導に心理職教員を活用。 ・検診・再検診について連携している。	・随時、健康について指導している。 ・健康管理者が中心に対応している。 予防接種についても連携している。	・予防接種の啓発を前学生に実施。 ・精神的な健康指導に心理職教員を活用。 ・内科・外科の所見でも随時連携。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	☐ 遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか ☐ 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか ☐ 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	NA				
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	☐ クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか ☐ 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか ☐ 大会成績など実績を把握しているか	4 NA NA	・保育関係、スポーツ関係のクラブがあり、すべてに顧問を配置している。	・月曜又は木曜 4 時限などを利用して、全ての学生がクラブに参加し、活動が行われている。	・限られた時間で、授業との両立、有効な活動に向けての支援をしていく。	保育研究発表会案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
東京都育英資金、日本学生支援機構の活用により支援体制を整えている。経済的な支援を希望する学生の増加がみられるが、支援体制の有効性の検討とリレー口座の加入など、奨学生の義務についての指導のあり方などを整備していく。定期健康診断等保健管理は保健担当職員、担任が行っている。	東京都育英資金、日本学生支援機構の活用を実施しているが学校独自の奨学制度、減免制度は設けていない。 保育実習や教職実践演習の前に最近検査、健康指導などを行っている。 クラブ活動の成果は本校の保育研究発表会で発表している。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 3 1 日	記載責任者	大井 靖
--------	------------------	-------	------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	☐ 保証人会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか ☐ 個人面談等の機会を保証人に提供し、面談記録を適切に保存しているか ☐ 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保証人と適切に連携しているか ☐ 緊急時の連絡体制を確保しているか	4 4 5 4	・保証人会を開催し教育活動や就職活動の情報提供を行っている。 ・希望する保証人全員に個人面談を実施している。 ・問題解決のために、適切に連絡を取り合っている。 ・メールや電話で緊急時の連絡体制を確保している。	・単位取得、就職内定等についても具体的に詳しく説明している。 ・保証人会の後にも、個人面談を実施している。 ・保証人・学生・担任の三者面談を必要に応じて設定している。 ・携帯での連絡も工夫している。	・約三分の一程度の保証人が参加している。 ・希望があれば随時実施している。 ・問題について早期からの連携が必要である。 ・学生同士のライン等の連絡も活用。	保証人会案内 後援会だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保証人会等により、担任と保証人は、連絡がとれる体制がつくられている。また、後援会を組織し、保証人の中から代議員を選出し運営がなされ、学校との連携を図っている。	保証人による後援会組織の運営を行い、学生の活動支援を行っている。

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	大井 靖
--------	-----------	-------	------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	☐ 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか ☐ 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか ☐ 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか ☐ 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4 4 4 4	・各界で活躍している同窓生が力を出し合っ て協力体制をとっている。 ・就職担当、学年担当を中心に相談に応じている。 ・研究会に誘うなどして支援している。	・同窓会事務局を中心として、研修・懇親を柱とする活動を展開している ・再就職の紹介もしている。 ・同窓会主催の研修会を毎年本校で実施している。	・同窓会便りに就職支援の内容についても同封して周知している。 ・再就職希望者のほとんどが就職している。 ・同窓会研修会には多くの出席者がある。	同窓会だより 卒業生用求職登録カード
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	☐ 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか ☐ 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	N A				
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	☐ 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか ☐ 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか ☐ 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか ☐ 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	N A				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
愛校精神ある卒業生の財政的、教育的な支援の力が学校を支える底力の一つとなっていると思われる。学校と同窓会のスムーズな連携によってシステムが構築されている。	同窓会発足 86 年、約 15000 名を超える卒業生の実績が学校の理念を支えている。

最終更新日付	令和 7 年 1 月 3 1 日	記載責任者	大井 靖
--------	------------------	-------	------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しています。ただし、必要最低限となっており、最新の機器備品等へ随時入れ替えをしていく必要があります。 学生が幼稚園教諭免許状及び保育士資格を取得するために、教育実習、保育実習は大変重要であるという認識に立ち、全学をあげて実施しています。 実習の他には自然体験を1年次に御殿場の国立中央青少年交流の家において実施、2年次に上野動物園において実施、体育研修を1・2年合同で国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて実施しています。 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しています。また、学内における安全管理体制も整備し、適切に運用しています。	施設設備では、中長期計画を立て、できる限り計画に沿った管理ができるよう引き続き検討しています。しかし、予算の関係上、優先順位が高い順に取替更新、そして施設や設備の修繕を行っており、計画外の突発的なことに対応せざるを得ない状況になっています。学校の建物、備品などを大切に使用し、できるだけ長い期間利用できるようにしています。	

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

柳戸誉彦

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	□施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	4	施設・設備・機器類等は関係法令に適合しています。	優先順位が高いものから可能な限り取替更新、修繕を行っています。 優先順位が低くなり次年度以降に繰り越しとなることもあります。	中長期の計画を立て、できる限り計画に沿った管理ができるよう改善していきます。	
	□図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	4	学生支援の施設を整備しています。			
	□図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	5	図書は専門分野に応じ充実しています。			
	□学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	3	学生の休憩・食事のためのスペースは確保しているが、もう少しほしい。			
	□施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	1	バリアフリー化は取り組んでいません。			
	□手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	4	衛生管理は、徹底しています。			
	□卒業生に施設・設備を提供しているか	4	卒業生に施設を提供しています。			
	□施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	4	施設等の日時・定期点検・補修等は適切に行っています。			
	□施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	3	施設・設備等の改築・改修・更新計画は、適切に執行しています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しています。 ただし、必要最低限となっており、最新の機器備品等へ随時入れ替えをしていく必要があります。 また、中長期の計画を立て、できる限り計画に沿った管理ができるようにすることが課題となります。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	□学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか	5	意義や教育課程上の位置づけを明確にしています。	現在のところはない。	現在のところはない。	教育実習の手引き 保育実習の手引き 実習の評価票 実習日誌
	□学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	5	実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しています。			
	□関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか	5	関連業界等との連携による企業研修等を実施しています。			
	□学外実習について、成績評価基準を明確にしているか	5	成績評価基準を明確にしています。			
	□学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか	5	実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しています。			
	□学外実習等の教育効果について確認しているか	5	教育効果について確認しています。			
	□学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させています。			
	□卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	3	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が幼稚園教諭免許状及び保育士資格を取得するために、教育実習、保育実習は大変重要であるという認識に立ち、全学をあげて実施しています。 実習の他には自然体験を1年次に御殿場の国立中央青少年交流の家において実施、2年次に上野動物園において実施、体育研修を1・2年合同で国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて実施しています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	□学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか	4	学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しています。	現在のところはない。	現在のところはない。	消防計画書 校内組織図 教室配置図 避難訓練実施計画 通報訓練実施計画
	□施設・建物・設備の耐震化に対応しているか	5	建物等の耐震化は完了しています。			
	□消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか	5	消防設備等は法令に基づき点検・改善を行っています。			
	□防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか	4	防災訓練を定期的に実施しています。			
	□備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか	3	安全管理は徹底しています。			
	□教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	3	教職員・学生の防災研修教育を行っています。			
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	□学校安全計画を策定しているか	4	学校安全計画を策定しています。	現在のところはない。	現在のところはない。	学生便覧
	□学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか	4	防犯体制は防犯カメラを設置して行っています。			
	□授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4	授業中に発生した事故に関しては、学生便覧に掲載し運用しています。			

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	☐ 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか ☐ 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	NA 4	危険物の取り扱いがないため、作成していません。 学外実習の安全管理体制を整備しています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しています。また、学内における安全管理体制も整備し、適切に運用しています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高等学校等における進路説明会へ主に広報業者を通じて参加し、教育活動等の情報提供を行っています。 また、学生募集は、東京都専修学校各種学校協会の基準に基づき、適切に行っています。学校説明会等へ参加する来校者は減少傾向です。来校者を増やすことが近々の課題となります。 入学選考では、入学選考基準を明確化し、適切に選考をしています。また、入学選考に関する実績をシステム管理して把握しており、入学後の学生指導にも役立てています。	高校内進路説明会、高校訪問、インターネットを利用した募集活動等、実施できることは全て実施していきます。 学生募集で得た個人情報の管理体制は、改善点が見つかり次第、対策をしていきます。	学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、算定しています。また、入学辞退者に対しての取り扱いも適切なものとなっています。

最終更新日付

令和 7 年 1 月 3 1 日

記載責任者

柳戸誉彦

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	☐ 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか ☐ 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか ☐ 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	5 1 1	主に広報業者を通じて進路説明会に参加し情報提供を行っています。 高等学校等の教職員向けの入学説明会は実施していません。 教員、保護者向けの学校案内等は作成していません。	現在の方針の変更予定はありません。	現在のところはない。	
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	☐ 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか ☐ 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか ☐ 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか ☐ 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか ☐ 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	5 5 5 5 4	東京都専修学校各種学校協会の基準に基づき、願書受付をしています。 東京都専修学校各種学校協会の基準に基づいた募集活動を行っています。 志願者等の入学相談は、電話、メール等を活用して対応しています。 学校案内等で本校の教育活動等を分かりやすく明記しています。 広報活動の情報管理等のチェック体制は、改善の余地があります。	現在の方針の変更予定はありません。	現在のところはない。	学校案内 学生募集要項 学校紹介 HP 竹早だより

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	□体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか	3	学校説明会は4月から3月までの期間に15回実施しています。	学校説明会等へ参加する来校者は減少傾向です。来校者を増やすことが近々の課題となります。	高校内ガイダンス、高校訪問、インターネットを利用した募集活動等、実施できることは全て実施していきます。	学校案内 学生募集要項 学校紹介 HP 竹早だより
	□志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4	総合型、指定校、学校推薦型、及び一般選抜を取り入れています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集は、学校説明会等へ参加する来校者は減少傾向です。来校者を増やすことが近々の課題となります。高校内ガイダンス、高校訪問、インターネットを利用した募集活動等、実施できることは全て実施していきます。 また、個人情報管理対策には、効率化を考慮に入れながら改善に取り組んでいます。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	☐ 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか ☐ 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか ☐ 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	5 5 5	入学選考基準に基づき、入学試験結果を数値化しています。 入学選考等は入学選考基準に基づき、運用されています。 判定会議により合否の決定をしています。	現在のところはない。	現在のところはない。	学生募集要項 竹早だより
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	☐ 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか ☐ 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか ☐ 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか ☐ 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	5 5 5 5	入学選考データはシステム管理をしています。 入学者の傾向を把握し、授業方法の検討など適切に対応しています。 受験者数、入学者数の予想数値を算出しています。 財務等の計画数値と整合性を図っています。	現在のところはない。	現在のところはない。	学生募集要項 竹早だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考では、入学選考基準を明確化し、適切に選考をしています。また、入学選考に関する実績をシステム管理して把握しており、入学後の学生指導にも役立てています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	☐ 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか ☐ 学納金の水準を把握しているか ☐ 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	5 5 5	学納金の算定内容等を明確にしています。 学納金の水準を把握しています。 学納金等の徴収金額は明示しています。	現在のところはない。	現在のところはない。	学生募集要項 竹早だより
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	☐ 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱いしているか	5	募集要項に明示をして適切に取り扱っています。	現在のところはない。	現在のところはない。	学生募集要項 竹早だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、算定しています。また、入学辞退者に対しての取り扱いも適切なものとなっています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校及び法人運営は、中長期的に財務基盤を安定させるために様々な角度から将来へ向けて計画を立てていく必要があります。収入のほとんどは、学生生徒納付金であり、年々受験者数が減少していることが最大の懸念事項になっています。 支出では教育の目的との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定していますが、老朽化により修繕箇所が多いため、突発的な修繕が発生することもあります。予算の執行管理は、予算及び計画に基づき、適正に行っています。 私立学校法及び寄附行為に基づき、監事の監査、公認会計士の監査を実施しています。監査報告書を作成して、理事会・評議員会で報告をし、監査の改善意見には、適切に対応しています。 私立学校法における財務情報公開の体制整備は寄附行為にて制定しています。	学校及び法人運営を長期的に考え、無理のないコスト削減計画、収入増加計画、計画的な修繕計画などを立て改善を図ります。	

最終更新日付	令和 7 年 1 月 3 1 日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	------------------	-------	------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	☐ 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか ☐ 収入と支出はバランスがとれているか ☐ 貸借対照表の翌年度繰越収支差額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか ☐ 事業活動収支計算書の当年度収支差額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか ☐ 設備投資が過大になっていないか ☐ 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	5 1 1 5 5 5	受験者数・入学者数の定員充足率の推移は把握しています。 学生数減少によりバランスがとれていません。 翌年度繰越収支差額のマイナス解消の計画は長期計画で立てている。 学生の減少の影響が大きく収支差額がマイナスになる傾向があります。 設備投資は必要最小限に留めています。 負債は借入金がないため、妥当な数値となっています。	年々受験者数が減ってきています。 校舎等の老朽化により、今後大規模な修繕が予想されます。	入学定員の確保が最重要課題になっています。(基準7 学生の募集と受入れを参照) 修繕は計画的に実施していく必要があります。(基準6 教育環境を参照)	財務計算書 減価償却簿
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	☐ 最近3年間の収支状況(事業活動収支・資金収支)による財務分析を行っているか ☐ 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	5 5	最近3年間の収支状況の財務分析は行っています。 最近3年間の財産目録・貸借対照表の財務分析は行っています。	現在のところはない。	現在のところはない。	資金収支推移表 事業活動収支推移表 貸借対照表推移表 財務計算書

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	□最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか	5	最近3年間の設置基準等に定める負債関係の償還計画を策定していません。	現在のところはない。	現在のところはない。	資金収支推移表 事業活動収支推移表 貸借対照表推移表 財務計算書
	□キャッシュフローの状況を示すデータはあるか	5	キャッシュフローの状況を示すデータはあります。			
	□教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか	2	収入が減っており、人件費比率を下げる必要があります。			
	□コスト管理を適切に行っているか	4	コスト管理は適切に行っています。			
	□収支の状況について自己評価しているか	5	実施している。			
	□改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4	改善が必要なときに財務改善計画を策定しています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校及び法人運営は、中期的には財務基盤は安定していますが、長期的には、財務基盤を安定させるために様々な角度から将来へ向けて計画を立てていく必要があります。収入のほとんどは、学生生徒納付金であり、年々受験者数が減少していることが最大の懸念事項となっています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	□予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか	3	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っています。	建物等の修繕計画が立てづらい財務環境になっています。	耐用年数表を利用して、毎年度バランスよく修繕ができるよう計画します。	財務計算書
	□予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	5	予算の編成過程及び決定過程は明確になっています。			
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	□予算の執行計画を策定しているか	4	予算執行の計画を策定しています。	現在のところはない。	現在のところはない。	財務計算書
	□予算と決算に大きな乖離を生じていないか	4	予算と決算に大きな乖離は生じていません。			
	□予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか	5	予算超過の場合は、補正予算を立てています。			
	□予算規程、経理規程を整備しているか	5	経理規程を整備しています。			
	□予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	5	予算執行にあたって適切な会計処理を行っています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定していますが、老朽化により修繕箇所が多いため、突発的な修繕が発生することもあります。予算の執行管理は、予算及び計画に基づき、適正に行っています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	□私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査をしています。	現在のところはない。	現在のところはない。	財務計算書 会計諸帳簿
	□監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	5	監査報告書は理事会等で報告をしています。			
	□監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	5	監事の監査以外に公認会計士の監査を実施しています。			
	□監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	5	監査の改善意見は、適切に対応しています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法及び寄附行為に基づき、監事の監査、公認会計士の監査を実施しています。監査報告書を作成して、理事会で報告をし、監査の改善意見には、適切に対応しています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	☐ 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか	5	財務公開規程は寄附行為に整備しています。作成しています。	現在のところはない。	現在のところはない。	寄附行為 竹早だより ホームページ
	☐ 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか	5				
	☐ 財務公開の実績を記録しているか	5	財務公開の実績は、公表することで記録となっています。			
	☐ 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	5	ホームページ、冊子「竹早だより」で公開しています。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法における財務情報公開の体制整備は寄附行為にて制定しています。財務情報公開の形式は冊子「竹早だより」、ホームページにて掲載しています。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	柳戸誉彦
--------	-----------	-------	------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
竹早教員保育士養成所は短期大学設置規準に規定された内容を遵守することで認可されている専門学校である。 更に本校は幼稚園教員と保育士の養成校であり、幼稚園教員に関する部分は文部科学省が、保育士に関する部分は厚生労働省が所管しているが現在は東京都に事務移管されている。 再課程認定等教育課程の変更について、法令に基づいていて実施している。	毎年年次報告、業績報告等、各種報告調査に求められている法令、規準等の遵守には最大の努力を行っている。今後も法令等を遵守していく。	・文部科学省への報告…指導大学である東京学芸大学を通して行っている。 ・東京都・文京区への報告 ・実地調査…東京学芸大学（文部科学省の代行） ・業務報告…東京都保健福祉局

最終更新日付

令和7年1月31日

記載責任者

高橋 武郎

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	□関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	4	法令、設置基準に基づいて学校を運営し、自己点検し、適正な諸届を行っている。	運営の実態が公的報告と自己点検に示されている。	SNS等、時代の変化に応じた対応が遅れないようにする。 学生指導を更に徹底する。	指定教員養成機関の年次報告 指定保育士養成施設業務報告 学生便覧 教務関係ハンドブック（学則含む）
	□学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	4	規則を整備して、適切に運用している。	毎年発行の学生便覧を使用して、学生にも規則等の周知、理解を図っている。		
	□セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	3	職員会議、組織を通して、法令基準等の理解と具現に努めている。	セクシュアルハラスメント等の対応マニュアルの策定・運用について検討する。		
	□教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか	3	学生にも法令遵守の指導を適宜行っている。			
	□教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	3	講師連絡会を設け非常勤講師への周知にも努めている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、常に所管の文部科学省、厚生労働省（東京都）の規定に基づいて運営している。また、法令や設置基準等については常に教職員に周知し、全校で徹底するよう努めている。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	☐ 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか ☐ 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか ☐ 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか ☐ 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4 3 3 3	本校では、志願者、入学者、卒業生、就職関係など各種の学生情報及び教職員の個人情報それぞれの部署で保管、管理している。 情報保護についての法令等は授業で学生にも指導している。	必要な情報を各所で管理しているが、取り扱いルール作り等が必要である。 情報機器の操作の授業及び各学級での指導で啓発活動をしている。 電磁記録取扱規定の策定・運用について検討する	情報の精選と事後の個人情報の管理を整備する。 また、基本的事項に類することで、更に危機管理への対応が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習等、情報を外部機関へ伝える方法等も含め、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、適切に対応している。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

)

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	☐ 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ☐ 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか ☐ 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4 4 4	関東信越厚生局に求められて自己点検は、趣旨に則して点検し、改善につなげている。			各種報告書 自己点検・自己評価報告書 学校関係者評価委員会報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	☐ 評価結果を報告書に取りまとめているか ☐ 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4 4	自己評価を適切に実施し、まとめている。			
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	☐ 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ☐ 実施のための組織体制を整備しているか ☐ 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか ☐ 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4 4 3 3	学校評価の組織体制を整備して実施している。授業についての自己点検・自己評価、授業についてのアンケートを実施している。	第三者評価委員会を設置するなど評価の在り方をさらに検討する。		
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	☐ 評価結果を報告書に取りまとめているか ☐ 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4 4	結果は集計して報告にまとめ、関係者に周知している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価結果について、ホームページにて広く公開されている。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	☐ 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか ☐ 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4 4	学校便り（竹早だより）、学校案内、後援会だよりを発行、HPにて広く公開している。	さらに広く公開する方法を検討する。	学校説明会、学校見学会も年に10回以上実施する。	竹早だより 学校案内 後援会だより

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校便り（竹早だより）、学校案内、後援会だよりを発行、さらにホームページにて広く公開されている。 令和3年12月中旬よりInstagramを開始し、授業の様子を広く公開している。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 武郎
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
- 文京区との連携、実習・就職などで関係ある施設のボランティア活動などに単発的には学生が参加している。 - 今後、区内の幼稚園、保育園等と区役所、区教委と連携しながら、学生参加の活動を広げていく。 - コロナにより中断していた特別支援学校・盲学校等を訪問して学生が定期的にボランティア活動を再開したい。 - 保育研究発表会を本校開催とし、コロナ感染症が2類から5類に移行したことに伴い、非常勤講師、地域、保証人などの観覧・参加を可能とし、学生のボランティア参加、保育研究発表会の開催を行うことができた。	- 伝統的に関係している東京学芸大学、東京学芸大学同窓会、東京都教育会とは、連携を続けていく。 - 本養成所の卒業生の組織である同窓会とは密接な関係をもち、現職研修会も実施している。 - コロナにより中断している王子第2特別支援学校や文京盲学校へのボランティア活動を再開する。 - 保育研究発表会等の行事を利用するなどして、社会貢献・地域貢献をすすめる	- 地域の幼稚園と共同研究を実施している - 教職実践演習等により地域の幼稚園、保育所、学童クラブ、児童館との連携を図る。

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	☐ 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか ☐ 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか ☐ 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか ☐ 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか ☐ 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか ☐ 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか ☐ 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか ☐ 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか ☐ 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4	文京区役所との連携。東京学芸大学、同大学同窓会、東京都教育会とは、連携を進めている。 全国幼稚園協議会での教職実践演習の結果発表など。 ・明照幼稚園との幼稚園教育課程再編への取り組み 就職指導室がハローワークの代行機関としての機能を果たし、現役学生・卒業生の就職支援にあたっている。 ・教員免許状更新講習を2講習ずつ4回実施 ・同窓会の研修会実施 ・地域の団体に週1回1団体に開放 ・高等学校の職業説明会に参加。また、学生が出身校に出向くこともある。 ・職業内容説明や資格取得のために必要な勉強内容の説明を行っている。 ・教職実践演習の開催、また同窓会主催の研修会などを行っている。 ・地球温暖化防止対策として節電等に努力している。蛍光灯のLED化。 ・ゴミの減量化に努めている ・日本国憲法、教職概論、社会福祉等の授業時間で社会問題を積極的に取り上げている。 ・必要に応じ学生集合を呼びかけ注意を喚起している。	・地域の幼稚園・保育所との日常的な関係を深める。 ・環境問題を学生にも意識させる。 ・学校全体として取組むようにする。	・地域の幼稚園、保育所で学生を派遣し、ボランティア的な活動を進める。 ・身近な問題として考えられるよう日常的な指導をする。 ・授業者に年間計画と共に、社会の同行に目を向けるよう方向づけを促している。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいる か		N L				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献・地域貢献を積極的に行う姿勢だが、さらに検討を進める必要がある。	

最終更新日付	令和7年1月31日	記載責任者	高橋 系子
--------	-----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	☐ ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか ☐ 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか ☐ ボランティアの活動実績を把握しているか ☐ ボランティアの活動実績を評価しているか ☐ ボランティアの活動結果を学内で共有しているか		・コロナ 5 類移行以後、呼びかけをしている。		・区などのボランティア活動の主催者と連携を図る。 ・春、夏の授業のない期間でのボランティア活動を勧める。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
令和6年度は実施困難であったが、例年学生の授業時数の多さやアルバイト等により、学生の自主的なボランティア活動が広がりにくいという課題はある。王子第2特別支援学校や文京盲学校へのボランティア活動も再開する等さらに検討を進める。	

最終更新日付	令和 7 年 1 月 3 1 日	記載責任者	高橋 系子
--------	------------------	-------	-------

4 令和6年度重点目標達成についての自己評価

令和6年度重点目標	達成状況	今後の課題
本校は「誠実で有為な幼稚園教員・保育士を養成する」ことをねらいとしており、次に示す能力や知識・技能を身に付けるために教職員が一体となって取り組んでいる。そして、学生が節度ある態度や行動、学ぶ意欲をもち、積極的に学習に取り組むことを期待している。 (1) 保育者としての使命感の自覚及び求められる専門的知識と思考力・判断力 (2) 教育・保育の場における様々な課題に対応できる実践的な技能 (3) 教育・保育活動に必要とされるコミュニケーション能力及び多様な人と協働する力 これらの能力や知識・技能を身に付けるために令和6年度は、以下の重点目標をあげた。 (1) 保育者としての専門性を高めるための機会を確保する。 (2) クラブ活動や行事からの学びを充実させ、保育者としての資質・能力の向上をめざす。 (3) 多様化する学生一人一人の課題に丁寧に対応する。 (4) 地域連携による「保育補助活動」の充実を図り、実践力を高める。 (5) 実習と実習指導の充実を引き続き図る。 さらに学生募集については、学校説明会やガイダンスに加え、高校訪問により本校の魅力を伝えていく。	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、これまでの制限が緩和され活動の幅が広がった。 (1) 授業では、完全に対面授業ができるようになり、学びの機会をしっかりと確保することができた。 (2) クラブは1・2年生合同の活動が再開され、異学年の交流が実現した。行事については、体育研修を再開し、保育研究発表会では外部の参加、卒業式には在校生の参加等実現した。 (3) 担任を中心に気になる学生への丁寧な対応、指導の成果として欠席・遅刻の回数が例年に比べ減少した。 (4) 「保育・教職実践演習」と「表現指導法B」をタイアップさせ、昨年に引き続き地域の児童館・幼稚園でのミニプログラムを企画し、実施した。 (5) 実習に向けての事前事後指導の内容の見直しと充実を図り、実習後に情報交換を行い、改善に向けて実習委員会で検討を行った。 学生募集については、学校説明会を増やすなどしたものの、募集状況は厳しい結果となった。	コロナ禍前の日常を取り戻しつつある中、昨年度からの成果と課題を踏まえ、次の重点目標を掲げ取り組んでいく。 (1) 保育者としての専門性を高める。 保育者に求められる資質・能力について、養成段階で身に付けるべき内容を明確にし、学びの体系化を試み、各授業における学びが保育者の専門性のどこへつながるのかを学生自身が意識できるようにする。 (2) 各種の行事を通した学びを充実させる。 保育者に必要な人間力へつながるよう、内容や方法を引き続き検討する。 (3) 多様化する学生一人一人の課題に丁寧に対応する。 学校生活の中では、引き続き授業への出席を重視し学ぶことへの意欲を高めたい。また挨拶・言葉遣い等保育者としてふさわしい身のこなしを身に付けさせたい。さらに共に生活する仲間とのコミュニケーションを深め、協力し合う関係をつくり上げる機会をもちたい。これらのことが実現できるようこれからも取り組んでいく。 なお、学生募集についてはガイダンス、学校説明会、高校訪問等の内容をさらに検討し、本校の魅力を伝える努力をしていく。特に、令和7年度から週4日制となることや授業のない金曜日に設定する保育探究講座の内容などをアピールし、学生募集増につなげたい。

令和7年1月31日

記載責任者

高橋 武郎